

会議録

会議の名称	平成29年度 西東京市青少年問題協議会 第2回
開催日時	平成29年10月5日（木） 午後1時から午後2時30分まで
開催場所	田無庁舎5階 503会議室
出席者	委員：住田副会長（座長）、浅野委員、金原委員、小峰委員、佐藤委員、高橋委員、田中委員、西原委員、西嶋委員、藤田委員、山崎委員 事務局：子育て支援部長 保谷、子育て支援課長 飯島、児童青少年課長 齋藤、子育て支援課調整係 栗林、田中 欠席者：石井委員、菅田委員、松本委員
議題	第8期青少年問題協議会報告書について
会議資料の名称	・会議次第 資料 第8期西東京市青少年問題協議会報告書（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>副会長挨拶</p> <p>○副会長： 今期最後の協議会となった。皆さんの意見を反映して報告書を作り上げる。御協力のほどをお願いする。</p> <p>審 議</p> <p>第8期青少年問題協議会報告書について</p> <p>○座長： 専門部会長から説明をお願いしたい。</p> <p>○A委員： 報告書は、「はじめに」でなぜこういう形の取り組みをしたのかを明確にし、そのあと、理想の西東京市の青年像と環境を載せてある。これらを踏まえたうえで、地域力が低下し自治会等々が少なくなっていく一方で新しい住民が増えている西東京市の中で、地域の人たち・地域の資源は今どう作られ、活用され、育っているのか、ということ調査するという目的において、3つの団体をヒアリングした、と読み込めるように作成してある。ヒアリング報告の提示の方法を専門部会で協議した結果、児童養護施設・学習支援施設・子ども食堂施設のヒアリング内容を並べて、その後ろにご協力いただいた団体の概要として地図と連絡先等をお示し、報告書を読んでもらう方には、市内にこういう団体があるということを知っていただける形にした。</p> <p>報告内容の総括の部分は、「行政及び関係機関に望むこと」に市に伝えたいことがあるかという質問をした内容が載っている。市民に多く知らせてほしい、市民の関心及び市民に知ってもらうことによって支援が深まっていくことが望ましいということをどの団体からも言われた。そして、そのような人たちがお互いに知り合う場、関係性が持てる場を設定してほしいという要望が出たことがここにまとめられている。そのほかに、学校を拠点とした地域交流・活性化のあり方、地域のチカラについてまとめられてい</p>	

て、この部分が今回の報告書のメインになっていると思う。

最後に、報告書の計画と名簿が載っている。名簿は従来の五十音順ではなく、所属ごとに途中で交代された方もわかりやすい形で記載させていただいた。

○座長：

委員名簿のフリガナに一部誤りがあるので修正してほしい。

そのほか、質問、意見等があれば伺う。

○B委員：

大変わかりやすく丁寧にまとめられていて、活動してきた足あとにもなっていると思う。自分自身がおさらいするのもいいし、人に伝えるときに正確な情報を伝えることができる。総括の部分がとてもすばらしい。ここを協議会のまとめた意見として伝えていけばいいということもわかるし、現状、課題、これから行政機関に望むことも明確になっている。

○C委員：

大変わかりやすくまとめていただいた。私自身も青少年問題協議会の活動の意義を改めて認識できた。

○D委員：

「おわりに」に書いてあるとおりでと思う。子どもひとりでは育たないし、見えてきた問題が親の分野まで広がっていったのは非常にいいことだ。こういう広がりを今後も続けていけば、よりよい西東京市、子どもたちが住みやすい西東京市ができていくのではないかと思う。

○E委員：

先日、中学生が先生を足蹴にしたニュースがあった。ああいうことは結構あるというが、どういう事態なのかと思う。

○座長：

マスコミの報道はひとつのことを大きく捉えて広めているような印象がある。昔からこういうことはあったと思うが、今と昔ではものの伝わり方が全く違うのではないか。また、昔は地域にもう少し教育力があつた。その辺が大きな違いではないかと思う。

○D委員：

問題行動でいえば、今の方が件数は全然少ない。

○座長：

ごく一部をとりあげて大きく報道されるている。もっといい報道をしていただけるといいのと思う。

○F会員：

わたしは予定が合わず視察に参加できなかったのが残念だ。報告書の内容はわかりや

すいだけではなく情報量がとても多いので、どんなものかとても理解できたと思う。構成についても、個々の視察の結果が並べられた上で全体のまとめとして総括がついているので、何のためにやってどんな成果があったのかがよくわかった。

○G委員：

専門部会員ではないが聖ヨゼフホームの視察には参加できた。外で見聞きして知っているのと実際に入って体験するのはえらく違うと勉強になった。市内には聖ヨゼフホームのお子さんをお預かりしている学校が複数ある。学校側の立場からすると、一般の家庭と同じようなことを要求したりお願いしたりすることが多々あったが、学校も歩み寄って何か協力できることはないかというスタンスに、自分自身が変わったと思う。猫の足あとも以前気にかかる家庭を随分助けていただいた経験がある。校長会でもこれらの活動は名前が出るが、実際に行ったことのある校長はほとんどいない。報告書は校長会で資料として活用させていただきたい。

1点、総括の「学校を拠点とした地域交流、活性化のあり方」のところに書かれている放課後カフェについて、中学校としては、継続してやっていただけるのはいいのだが、学期に1回や年に1～2回でイベント的な開催だと、子どもたちにとっては「学校内でお菓子や飲み物が出る特別の日があった」程度になって意味が違ってしまふのかなと思う。毎月とか、お互いに顔がわかって、気にかかる事案について話せるような感じになるまで継続した形で提案していただけるとありがたい。

○A委員：

青嵐中は年8回、ひばりが丘中は今年から立ち上げたので年5回を予定している。飲み物だけで食べ物は出さない。その中でも子どもたちと関係はできてくる。ひばりが丘中は児童センターの近くに側に移転する予定なので、それも見越した地域づくりということでひばりが丘児童センターの職員が入ってくれていて、すごく会話が弾む。地域のいろいろな人が集うことによって、子どもたちがたくさん大人と接点を持って自分たちの視野を広げていく場になるといいなと思ってやっている。継続的にやらせていただけるならそれは大変嬉しいことだ。ただ学校側も忙しいし、資金的なこともある。保谷中と田無三中はおやじの会の方たちの発意で、自分たちがちゃんと関われる時間帯ということで土曜カフェになりそうだ。学校ごとやり方で、廊下でもどこでも、そこに飲み物があるだけでも子どもは集まってくる。家庭に事情のある子ども等も知っているが、そういう子も来る。そこで友達関係とか、今日はちゃんと来てるとかいうこともわかることがある。学校にそういう場があるということはすごくいいことだという実感がある。是非またご協力していただけるとありがたい。

○座長：

わたしは15～6年前から谷戸小学校の家庭科室を借りて毎月第2土曜日に喫茶室をやっている。その中でイベントをしたり高齢者お招きして食事会をしたりして、小学校の子どもたちもお手伝いしたくて来るたりする。学校の先生方からも早めの情報をいただける。地域で学校の中に入り込むのはいいことだと思っている。

○H委員：

今のお話を聞いても、学校によって意識の差がいろいろあるなと思う。今回視察した

子ども食堂についても近いか遠いかで意識が違う。私の周りで子ども食堂の存在を知っているという大人はそれほどいなかった。私自身、今回視察をしていい経験をした。また、自分で知ったことをどんどん広めることが大事なんだということを勉強した。これからの使命として自分がやるべきことだと感じた。

○座長：

これほど飽食の時代だといわれているにもかかわらず、家でご飯が食べられない子がたくさんいる。わたしが保護司生活で関わった子たちはほとんどが食べられていなかった。子ども食堂には親もいっぱい来ている。親も子どもと一緒に食事をしたいが、子どもと一緒に食べるチャンスがないという。朝食を食べないで学校に来る子ども多いと聞く。食事を食べさせてやりたいという意識が昔と違ってきているのかもしれない。

○I委員：

昔に比べてSNSの影響で交友関係とかの情報に掴みにくいというのはある。総括では「子どもを取り巻く様々な問題が複雑になる中・・・」と書かせていただいた。テレビ番組で紹介された北九州市の施設に保護司会の研修旅行で行ってきた。そこは児童相談所と警察関係の少年サポートセンターと教育委員会の少年サポートチームがひとつのフロアにいて、子どもたちのために対応している。その連携の取組みで少年犯罪が5%減ったという情報もらった。関係機関が同じフロアにいて、人事交流もして、日ごろから守秘義務を前提として情報を共有しており、迅速な対応ができる。参考にされるべきかなと思った。

○E委員

子ども食堂などは、場所とか資金とか食材とか、運営面はどのようにしているのか。そういう活動をやるなら手伝ってもいいという人は結構いると思う。きっかけがあればできると思うがやり方がよくわからない。

○B委員：

ちょうど中学校の放課後カフェの立ち上げ方等を教えてもらうための集まりが近々あるので、よろしかったらご参加いただければいかがか。

○A委員：

明石市は、市で子ども食堂を立ち上げるにあたり、興味のある人への呼びかけ、掘り起こしを市報で行なって活動につないでくれる。行政がこういう機運を盛り上げてくれれば人材はいっぱいいると思う。こういう視点で子どもたちの育ちを応援できるといい。

○座長：

たくさんいい例があがった。少しでも西東京市の中で取り組んでみようと思う人がでてくるといい。

報告書については、委員氏名のフリガナの修正を行い、(案)をとって報告書とさせていただきます。よろしいか。

(異議なし)

○座長：

ご承認いただいたということで、これを市長に提出する。

(了)